

# 日本医師会 令和2年度(第54回)臨床検査精度管理調査

## 【 積水メディカル 試薬・測定法分類コード表 】

### 試料送付と回答票返送期限

臨床検査室等	送付日	：令和2年 9月 8日 (火)	(到着予定)
	締切日	：令和2年 9月17日 (木)	
試薬・機器メーカー	送付日	：令和2年 9月24日 (木)	(到着予定)
	締切日	：令和2年10月 2日 (金)	

### 特記事項

1. JSCC標準化対応法、JCCLS(IFCC)標準化対応法では、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス：積水メディカル推奨値)で検量して下さい。  
標準化対応法は37℃で測定することが前提です。  
AST、ALT、LD、ALP、 $\gamma$ -GT、CK、AMY、ChE
2. トレーサビリティの確認調査用に使用可能な公的標準が掲載されています。  
公的標準品のある酵素項目および濃度項目について調査が行われます。  
尚、JCCLSの標準品とはERM(酵素キャリブレーター)、IFCCの標準品とはERM-DA470k/IFCC  
又はERM-DA472/IFCC,ERM-DA474/IFCCが該当します。
3. 日常検査において、メーカー指定の製造業者製品校正物質によりキャリブレーションを実施している場合このキャリブレータを検体として測定した場合、企業の標準品にてトレーサビリティを確認したことになりますので、[企業の標準品]コード番号(7)を選択してください。
4. 臨床化学自動分析装置 EV800 (測定装置コード表 より)

測定装置名	企業名	コード
積水メディカル EV800	日立ハイテクノロジーズ 積水メディカル	BBC520

お問い合わせ先 : カスタマーサポートセンター コールセンター

**TEL 0120-249-977**

積水メディカル株式会社  
カスタマーサポートセンター

# [ 項目別記入例 ]

## 1. 総蛋白

(1) 【アナセラム ALB・TP標準液】、【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイ TP	11 ビュレット法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセラ TP				
クオリゼント TP				

(2) 【総蛋白・アルブミン標準血清】、【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS TP	11 ビュレット法	04 カインス	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クオリゼント TP-N				

## 2. アルブミン

(1) 【アナセラム ALB・TP標準液】、【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイ ALB	11 BCG法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセラ ALB				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS ALB-N	22 BCP改良法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クオリゼント ALB-N				

## 3. 総ビリルビン

【ユニメディ「T-BIL-LQ」、「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「T-BIL-LQ」	31 酵素法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0

## 4. 直接ビリルビン

【ユニメディ「T-BIL-LQ」、「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「D-BIL-LQ」	32 酵素法 δビリルビンを測り込まない方	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0

## 5. ブドウ糖

【アナセラムGLU標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 整数
ピュアオートS GLU				
クオリゼント GLU				
オートセアS GLU				

## 6. 総カルシウム

(1) 【アナセラム CA標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC)	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセア CA				
PTS用オートセア CA				
クオリゼント CA				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】または【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC)	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセア CA				
PTS用オートセア CA				
クオリゼント CA				
アキラスオート Ca	61 酵素法	11 シノテスト		
アキラスオート Ca II				

## 7. 無機リン

(1) 【アナセラム IP標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイト IP-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント IP				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイト IP-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント IP				
ピュアオートS IP	31 酵素法			
クオリゼント IP-N				

## 8. マグネシウム

(1) 【アナセラム MG標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クニメイト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント MG				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クニメイト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント MG				

## 9. 尿素窒素

(1) 【アナセラム UN標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピニアートS UN-L	25 LED アンモニア回避法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント UN				
ピニアートS UN-N	23 アンモニア消去法			
クオリゼント UN-N				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピニアートS UN-L	25 LED アンモニア回避法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント UN				
ピニアートS UN-N	23 アンモニア消去法			
クオリゼント UN-N				

## 10. 尿酸

(1) 【アナセラム UA-E標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピニアートS UA	31 ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセラス UA				
クオリゼント UA				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】、【セロノルム・マルチキャリブレータ】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピニアートS UA	31 ウリカーゼ・ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセラス UA				
クオリゼント UA				

## 1 1. クレアチニン

(1) 【アナセラム CRE標準液】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.00
ピュアオートS CRE-L				
クオリザイント CRE				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.00
ピュアオートS CRE-L				
クオリザイント CRE				

## 1 2. 血清鉄

(1) セロノルム・マルチキャリブレーションを使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS FE	21 直接比色法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	µg/dL 整数
クオリザイント FE				
クイックオート 材 Fe		11 シノテスト		

### 1 3. AST / 1 4. ALT

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製造販売元	検量法
ピロアトS AST-L	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリゼント AST-L					
ピロアトS ALT-L					
クオリゼント ALT-L					

### 1 5. LD

(1) JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS LD	11 JSCC法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリゼント LD					

(2) IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS LD-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリゼント LD-IFCC					

### 1 6. アルカリ性ホスファターゼ(ALP)

(1) JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	緩衝液
ピロアトS ALP	11 JSCC法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1 2-エチルアミノエタノール (EAE)
オートセリス ALP					
PTS用オートセリス ALP					
クオリゼント ALP					
	検量法				
ピロアトS ALP	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定				
オートセリス ALP					
PTS用オートセリス ALP					
クオリゼント ALP					

(2) IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	緩衝液
ピロアトS ALP-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	3 2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール (AMP)
クオリゼント ALP-IFCC					
	検量法				
ピロアトS ALP-IFCC	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定				
クオリゼント ALP-IFCC					

## 17. $\gamma$ -GT

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS $\gamma$ -GT	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジエント $\gamma$ -GT					
クオリジエント GGT					

## 18. CK

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトS CK-L	11 JSCC(IFCC) 標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定
クオリジエント CK-L				11 シノテスト	
シグナスオト CK					

## 19. アミラーゼ

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元
ピロアトS AMY-G2	112 JSCC標準化対応法	740 Gal-G-2CNP	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル
クオリジエント AMY-G2					
ピロアトS AMY-G7		532 4,6Iリヂェン-G-7			
クオリジエント AMY-G7					
	検量法				
ピロアトS AMY-G2	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定				
クオリジエント AMY-G2					
ピロアトS AMY-G7					
クオリジエント AMY-G7					

## 20. コリンエステラーゼ

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM(酵素キャリブレータープラス)で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	測定 温度	試薬キットの 製販元
ピロアトS CHE	11 JSCC標準化対応法	32 p-ヒドロキシベンゾイルコリンを 基質とする方法	1 標準化対応法 の国際単位	1 (37℃)	15 積水メディカル
クオリジエント CHE					11 シノテスト
クイックオト材 Ch-E					
	検量法				
ピロアトS CHE	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた 製造販売元指定				
クオリジエント CHE					
クイックオト材 Ch-E					

## 2 1. 総コレステロール

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピコアトS CHO-N	11 コレステロール酸化酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
コレステS CHO				
クオリザイェント CHO				

## 2 2. 中性脂肪

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピコアトS TG-N	21 酵素比色法 グリセロールを消去する方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
オートセラス TG-N				
コレステS TG				
クオリザイェント TG				
コレステS N TG	22 酵素比色法 グリセロールを消去しない方法(直接法)			

## 2 3. HDL コレステロール

	測定法	キャリブレータの種類	単位 桁数
コレステS N HDL	01-1201 沈殿操作を行わない方法：積水メディカル (コレステS N HDL、クオリザイェント HDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリザイェント HDL			

## 2 4. LDL コレステロール

	試薬キット名	キャリブレータの種類	単位 桁数
コレステS LDL	01-1201 積水メディカル (コレステS LDL、クオリザイェント LDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリザイェント LDL			

## 25. HbA1c

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名		キャリブレーションおよび 検量方法の種類	単位 桁数
キット名称			
(RE)ルディアN HbA1c	03-1201	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用	% 0.0
ルディアN HbA1c	酵素法 (積水メディカル)		
Lタイプ ルディアN HbA1c	03-1202 酵素法 (積水メディカル) (Lタイプ ルディアN)		

測定結果はNGSP値を記載して下さい

### 測定用前処理試料の作製

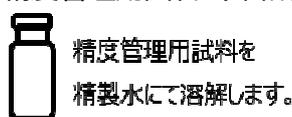
精度管理用試料 (凍結乾燥品) を測定する際には下記の手順で試料の調整を行ってください

#### <準備物>

1. 精度管理用試料 (凍結乾燥品)
2. 精度管理用試料専用希釈液 (専用希釈液) ……弊社DMRにお申し付けください
3. 「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」又は「Lタイプ HbA1c前処理液」

#### <調整方法>

- (1) 精度管理用試料 (凍結乾燥品) を指定された手順で溶解します



- (2) 溶解した精度管理用試料 **0.1 mL** に専用希釈液 **0.1 mL** を添加混合します



- ・ (RE) ルディアN HbA1c、ルディアN HbA1cをご使用の場合

#### 日立、キヤノン、日本電子、ベックマン ほか

- (3) (2) で混合した **HbA1c 混合試料 0.1 mL** に「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」**0.6 mL** を加えて攪拌し **HbA1c 前処理試料** とします。



- ・EV800、日立7180オプション機能付ではコントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します
- ・TBA-120FR系、AccuteRX 400FR自動前処理機能付では患者依頼画面にて“再検1”又は“再検2”で依頼し測定します
- ・TBA-nx360ではオーダー画面にて項目選択しアッセイオプションにて希釈タイプ“HemB”で依頼し測定します
- ・ビオリス 30iではコントロールポジション又は検体受付画面にて検体種別“HbA1c(溶血)”で依頼し測定します

#### 日本電子BM シリーズで自動前処理を行う装置

- (3) (2) で混合した **HbA1c 混合試料 0.1 mL** に「ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」**0.4 mL** を加えて攪拌し **HbA1c 前処理試料** とします。



- ・日本電子BMシリーズ自動前処理機能付きではコントロールポジション又は溶血済みポジションで測定します

- ・ Lタイプ ルディアN HbA1cをご使用の場合

#### ラボスペクト 006/003/008/008α

- (3) (2) で混合した **HbA1c 混合試料 0.1 mL** に「Lタイプ HbA1c前処理液」**0.4 mL** を加えて攪拌し **HbA1c 前処理試料** とします。



- ・ラボスペクト006自動前処理機能付ではコントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します

## 25. HbA1c

## 【 グリコヘモグロビン分析装置 RC20 】

◎測定装置コード表 より

G. 専用臨床化学分析装置

B) HbA1c測定装置

コード	企業名	測定装置名
GBR201	積水メディカル	RC20

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名 キット名称		キャリブレーションおよび検量方法の種類	単位 桁数
RC20	01-1201 HPLC法 (積水メディカル)	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用	% 0.0

測定結果はNGSP値を記載して下さい。

・グリコヘモグロビン分析装置RC20ではヘモグロビン濃度 **約1.5g/L** の時に最適な測定値が得られます。

#### HPLC法 試料9, 10の取り扱いに関する補足事項

サーベイ試料が凍結乾燥品で、規定量の精製水で溶解したときの総ヘモグロビン濃度が約10g/dLの場合は下記の通りです。その他の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

試料を**精製水0.14mL**で溶解し、専用の検体採取デバイスで吸引します。検体採取デバイスを装置にセットし、日常検体と同様に測定を行ってください。

**注) 試料を溶解した後は速やかに測定してください。**

**直ぐに測定できない場合は冷蔵庫で保管し、1時間以内に測定してください。**

**任意補正值を設定されている場合は、a : 1.000、b : 0.000に戻してから測定してください。**

## 26. インスリン

試薬キット名 ( ) 内は製造販売元		単位数	検量点
ルビア インスリン (積水メディカル)	05-1206 LIA [ラテックス免疫測定]	μU/mL 0.0	6 点

## 33. PSA

試薬キット名 ( ) 内は製造販売元		単位数	検量点
ナビア PSA (積水メディカル)	05-1201 LIA [ラテックス免疫測定]	ng/mL 0.0	6 点

## 37. TP抗体

試薬キット名 ( ) 内は製造販売元		利用している単位	桁数	貴施設の陽性下限値
メイエース TPLA (積水メディカル)	05-1204 LIA [ラテックス免疫測定]	3 T.U.	0.00	10.00 T.U.
メイエース TPLA(N) (積水メディカル)	05-1205 LIA [ラテックス免疫測定]			

陽性：10.0 T.U.以上

## 38. CRP

測定値はERM-470、DA472/IFCCまたはDA474/IFCC(IRMM)を伝達した値により評価します。

	測定法	試薬キットの製販元	単位数	CRP標準品(起源)
ナビア CRP	21 ラテックス比濁法	15 積水メディカル	mg/dL 0.00	12 ERM-DA470,DA472/IFCC またはDA474/IFCC(IRMM)
クリジエント CRP				

## 39. リウマトイド因子

試薬キット名 ( ) 内は製造販売元		単位数
N-アッセイ LA RF-K ニットホー (ニットホーメディカル)	05-2602 LIA(ラテックス免疫測定法)	IU/mL 0.0
ラビア ラテックス RF III (N) (極東製薬)	05-0503 LIA(ラテックス免疫測定法)	IU/mL 0.0

カットオフ値 15.0 IU/mL以下(参考)

## 48. プロトンピン時間(PT)

◇ 試薬キット名 ※ ( ) 内は製造販売元

試薬名	コアグピア PT-N (積水メディカル)	01-1201
	コアグピア PT-Liquid (積水メディカル)	01-1202
	トロンボチェックPT (シスメックス)	01-0601
	トロンボチェックPTプラス (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター-N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010
	AKキャリブラント(INR表示血漿) (シスメックス)	0014

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定・演算事項

ISI値	試薬キット記載値 or ローカル SI	小数点以下第2位まで報告 0.00
測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 0.0 (秒)
プロトンピン比	(試料23の秒数) / (試料22の秒数)	小数点以下第2位まで報告 0.00
INR <sup>*</sup>	(プロトンピン比) <sup>ISI</sup>	小数点以下第2位まで報告 0.00

※INR値の算出：プロトンピン比のISI乗(べき乗算)により算出します。

ISI	製造販売元指定(試薬キット添付書類記載)の値を使用	1
	自施設で設定したLocal ISI値を使用	2
	検量線によって自動的に算出されるINRからISI値を逆算	3
	その他	9

◇ ISI値の記載について

・コアプレスタ2000

試薬名	値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-N	キット外箱のコアプレスタ2000の値を適用	[精度管理/キャリブ]から[項目選択]→[PT INR]の項目を選択し「ISI-加値」の数字を記入して下さい
トロンボチェックPT	キット添書のコアグレックス800の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書のコアグレックス800の値を適用	
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし

・CP3000

試薬名	値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-N	キット外箱のCP3000の値を適用	[キャリブ]→左下項目欄から「PT」を選択[INR検量線]→[ISI-加値]の数字を記入して下さい
トロンボチェックPT	キット添書のコアグレックス800の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書のコアグレックス800の値を適用	
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし

## 49. 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)

◇ 試薬キット名 ※ ( ) 内は製造販売元

試薬名	コアグピア APTT-N (積水メディカル)	01-1201
	トロンボチェック APTT (シスメックス)	01-0601
	トロンボチェック APTT(S) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202

◇ 標準血漿コード 活性%で報告している場合

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 00.0 (秒) ※小数点以下第2位を四捨五入
-----	---------------	--------------------------------------------

### ※参考調査

APTTクロスミキシングテスト実施調査

・実施していない .....	10
・次の方法で実施	
混和直後の即時反応のみ測定 .....	21
混和2時間反応後の遅延反応のみ測定 ...	22
即時反応と遅延反応の両方を測定 .....	23

## 50. フィブリノゲン

◇ 試薬キット名 ※ ( ) 内は製造販売元

試薬名	コアグピア Fbg (積水メディカル)	01-1201
	トロンボチェック Fib(L) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000	積水メディカル	KAR202

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	整数値で報告 0 (mg/dL) ※小数点以下を四捨五入
-----	---------------	------------------------------------